



各 位

2023年4月3日

会社名 大豊工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 杉原 功一  
コード番号 6470 (プライム市場・プレミア市場)  
問合せ先 代表取締役副社長 河合 信夫  
電話番号 (0565)28-2225 (代表)

## 2035年カーボンニュートラル達成に向けた取り組みに関するお知らせ

当社は、持続可能な社会の実現のため、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組み、2035年までに国内工場から排出されるCO<sub>2</sub> (Scope1・2<sup>※1</sup>) の実質ゼロを目指す方針を新たに設定したことをお知らせします。

### 【当社の強みと考え方】

主要製品であるすべり軸受、アルミダイカスト製品は、材料から加工までの一貫生産を行っており、高い競争力を有しております。一方で、その生産過程における溶解・鋳造工程が、多くのCO<sub>2</sub>を排出しています。熱の使用を抑え、発生した熱も無駄にしない「熱マネジメント」に徹底的に取り組み、脱炭素に向けた事業活動を推進します。

### 【主な取り組み内容】

**ヘラス** 活動により、CO<sub>2</sub>排出量 50 % 低減 (2013 年比) を目指します。

#### ◇日常改善

徹底的なムダの削減により生産性向上を図り、“エネルギー使用時間の短縮”に取り組みます。

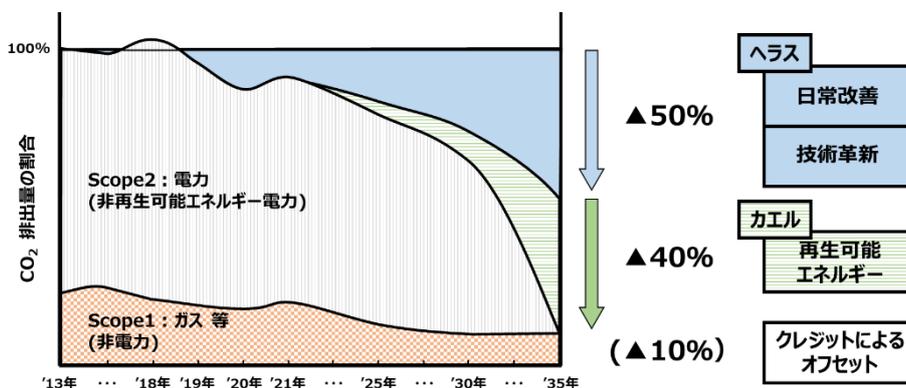
#### ◇技術革新

革新生産技術の開発・導入により、工程削減、熱源のミニマム化、熱損失の改善を図り、“エネルギーピーク値の低減”に取り組みます。

**カエル** 活動により、CO<sub>2</sub>排出量 40 % 低減 (2013 年比) を目指します。

#### ◇再生可能エネルギー活用

自社の生産用として利用することを目的に、太陽光発電設備の設置などに取り組みます。



なお、当社のグループ会社および Scope3<sup>※2</sup>を含めたカーボンニュートラルについては2050年の達成を目指して方針を検討しています。

※1 Scope1：自社での燃料の使用などによる直接的な排出、Scope2：自社が購入した電気などによる間接的な排出

※2 Scope3：その他の間接的な排出（原材料・輸送・車両燃費 など）

以上